

マンガピットで読めます /

# これも学習マンガだ! 大人も学べるマンガ入門

## 第15回

マンガピットを運営する一般社団法人マンガナイトの連載です。

ジャンル：歴史

### 『昭和天皇物語』

著者：能條純一  
半藤一利  
永福一成

出版社：小学館



© 能條純一 / 半藤一利 / 永福一成 / 小学館



企画監修：山内康裕  
(マンガナイト代表・「これも学習マンガだ!」事務局長)  
構成：松尾奈々絵(マンガナイト理事)

「昭和天皇」にどんなイメージを抱いているのかは、世代によって大きく異なるかもしれません。戦争を経験した人なのかによっても異なるでしょうし、今の学生の多くは、教科書に載っている「歴史上の人物」として認識している人も少なくないでしょう。

昭和という元号は、歴代の中で最も長く使われています。昭和は戦争と敗戦、焼け野原から世界第2位の経済大国へと変わった、激動

の時代でした。そのような昭和の時代を通史でわかりやすく書いたのが、半藤一利さんの『昭和史』です。『昭和史』は戦後篇と合わせて80万部となり、今も読み続けられている名著です。『昭和天皇物語』は、その『昭和史』を原作にした漫画で、昭和天皇から見た昭和史が描かれています。漫画を手がけるのは、『哭きの竜』や『月下の棋士』等の作品で知られる能條純一さん。写実的な絵でありながら読みやすく、過激な表現ではなく、画力に

よって繊細な目の動きや表情などで登場人物の心の機微を表しています。

物語はポツダム宣言を受諾し、マッカーサー司令官との面会から始まります。そこから41年前に時代は遡行し、皇太子以前、養育係の一人である足立タカとの出会いに移ります。どのような教育環境を用意されてどのような人物に出会い、天皇に即位したのか。どう生きたのが物語としてわかりやすく描かれています。日本における「天皇」という存在の立ち位置や変化、政治家や軍人とのその時々との関係性がわかり、回を追うごとに昭和天皇の苦悩が深くなっていく様子が重く伝わってきます。

そして昭和天皇がどのように人生を歩んだのかを学ぶのはもちろん、どのようにして、なぜ戦争が起こったのかを考えさせられます。じっくりと味わいたい作品です。



# マンガピット

Manga Edutainment

Supported by 日本 THE NIPPON FOUNDATION

「これも学習マンガだ!〜世界発見プロジェクト〜」に選出された作品を中心に学びにつながるマンガや学習マンガを楽しめる読書空間です。名作から近年のおすすめのマンガを約7000冊そろえました。かつてトキワ荘があったエリアで、ゆっくりとマンガを楽しんでみませんか?

これも学習マンガだ!  
Manga Edutainment

マンガナイト  
BOOKS

